長万部の教育コーナー

今、キャンパスでは

東京理科大学

十二月三日(土)、長万部町教育委員会主催、町内の小学三～六年生を対象とした「わくわく体験塾」が本学キャンパスで開催されました。

その実験講師として、十三名の大学生が活躍しました。学生の中には教員を目指している者も多く、そのうちのひとり柳さんは、「小学生の子どもたちが目を輝かせ嬉しそうに実験に取り組む姿を見て、教えるということの楽しさを実感した。教員になったら今回の経験を生かし、理科好きの子どもたちを増やしたい」と語ってくれました。

将来、また彼女たちが長万部の教育に貢献してくれる日がくることを願っています。

「消防署へ行ったよ」

さかえ保育所

「消防車は大きいな～」

「自分の町を知る」「身近な方々とふれあう」ということをねらいに、デイサービスセンター、学習文化センター、郷土資料室などに出かけました。

写真は、消防署に３・４・５歳児40名で行った時のものです。

間近で見る消防車の大きさに驚いたり、署員の方が見せてくださる装備や機器にさわってみたり、救急車にも乗せていただいたりして大感動の子どもたちでした。

保育所に帰ってきてからは、「大きくなったら消防士さんになる!!」という言葉も聞こえていました。

写真で見る学校の様子

長万部小学校

アイヌ文化の学習（11/9）

祖父母学級（11/9）

長小まつり（11/30）

長万部中学校

クイズで楽しんでいます【デイサービスセンターにて】（12/6）

絵　お上手ですね【デイサービスセンターにて】（12/8）

目線を合わせ折り紙です【デイサービスセンターにて】（12/8）

多くの方に支えられて

静狩小学校長　岩間唯史

静狩小学校では、八名の児童が仲良く元気に毎日を送っています。そして、静狩地域のみなさまは、いつもこの静狩小学校にあたたかい視線を送って下さっています。

今年度も地域のみなさまには、多くのご支援をいただきました。十月二十九日に行われた「学芸会・地域文化祭」では、子どもたちの劇や太鼓などの発表とともに、地域のみなさんの劇や歌なども披露されました。精一杯発表している子どもたちには、あたたかい言葉や大きな拍手をいただき、大変励みになりました。また、子どもたちは、地域文化祭を盛り上げるためにがんばっている方の姿を見て、地域を愛する人々の姿を間近に見ることができました。このように、学校と地域が一体となった行事などで、子どもたちはいきいきと活動しています。

静狩小学校では毎年、静狩駅に花を植える「花の駅長さん」の活動を実施しています。駅に置かれたノートの中に、次のような記述がありました。「駅舎の前に静狩小学校のミニ花壇を見ました。秋風が吹く季節で花も夏の暑さから解放されたように見えました。静狩のあたたかさを感じました。」また、「静狩小学校のみなさんの花壇が見たいです。整備がんばって下さい。」駅に立ち寄った旅行者の方からこのような励ましの言葉をいただきました。

子どもたちは、地域のみなさまをはじめ、多くの方々に見守られ、励ましを受けながら健やかに成長しています。今後とも、静狩小学校の八名の子どもたちをあたたかく支えていただきたいと思っております。